

欠けにくい 信楽焼人気

【大津】伝統産業である信楽焼を広く使ってもらおうと、藤陶(滋賀県甲賀市、藤田仁史社長、0748-83-1177)は欠けにくい信楽焼「Dura(デュラ)」を保育や介護現場に売り込む。食器洗浄機にも対応するため、保育や介護分野での需要が見込めると判断した。価格は従来の信楽焼より20%程度高いが、本物志向を背景に、初年度5000万円の売り上げを見込んでいる。



首都圏の保育園や介護施設からの問い合わせや受注が相次ぐ

藤陶

デュラは日本六古窯の1つ、信楽焼の技術を活用し、滋賀県立大学や滋賀県の信楽窯試験場と連携して開発した陶器。縁が欠けやすいという陶器の弱点を改善するためアルミナを加えるなど、陶土の配合や焼成時間を工夫した。粘土が軟らかなうちに手で形を作るタタラ技法や圧力鑄込みを採用し、「最小30個から、サイズは1辺50センチ程度まで」対応できる(同社)としている。

保育・介護分野に売り込み

雇用奨励金4倍1億円

工業団地販売でこ入れ 佐賀・武雄市

【佐賀】佐賀県武雄市は工業団地販売を強化するため、企業誘致に係る優遇制度を改定した。雇用奨励金の支給対象を従来の50人から2000人に引き上げ、支給上限額も4倍の1億円とした。また固定資産税は立地当初5年間免除に加え、6-10年間は50%を非課税とする。10月から「武雄北方工業団地」を分譲開始するに伴い、条例を改正して早期販売するのが狙い。これまで設置奨励金として固定資産相当額の補助制度があったが、非課税とすることで企業側の負担をさらに軽減する。

竹下製菓 長く愛される「黒い雪山」

黒いモンブラン。ヨーロッパの名峰をモチーフにした竹下製菓のロングセラー「ブラックモンブラン」は、パナライにチョコとクッキーをコーティングしたアイスバーだ。約50年間、幅広い世代に親しまれている。先代社長がアルプス山脈にチョコをかけてみたところ、お菓子にチョコとクッキーをコーティングしたアイスバーは、基本を変えないことだ。老舗菓子メーカー、ブラックモンブランはアイスキャンディーが主流だった時代に「お菓子屋の発想でつくった」ヒット商品。長く親しまれる理由が、「いち早くマシュマロやビスケットを製造した」。

九州

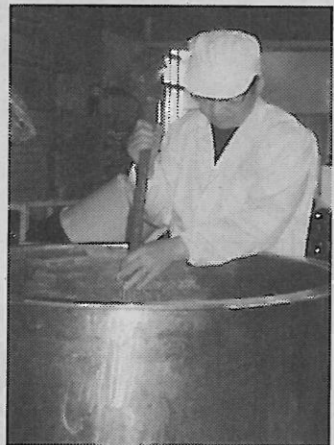
食べ・モノづくり

甘柿生産量日本一の福岡県では、年間6000トンの柿が規格外で廃棄されている。それら規格外の果実の利用を目的に、若竹醬油(福岡県久留米市)などが出資して設立したのが元山だ。生産設備の利用でも若竹醬油の支援を受けている。

元山

規格外の柿で調味料開発

製品は食品メーカー向けのピューレとシロップ。苦味や渋みを緩和する調味料として提案している。熟度や品質を問わず、冷凍柿も使用できる。柿のエキスを入れて味をまろやかにした珍しい「これまでに菓子やソースに採用された。年内には柿のエキスを入れて味をまろやかにした珍しい」。



ピューレなどに加工するため柿を煮詰める

インドネシアの自動車市場調査 大分県、来月 専門家を派遣

【大分】大分県はインドネシアの自動車関連産業の市場調査に乗り出す。県内企業のアジアにおけるビジネス交流・取引拡大が目的。日本貿易振興機構(ジェトロ)大分貿易情報センター(大分市)と連携して、インドネシアの同関連産業の実態や現地企業の実況などを調査する。その後は、大分県による2009年同国の自動車生産台数は約40万台、10年は約70万台と急増している。日本の完成車メーカー各社も進出しており、「自動車関連の現地企業と県内企業とのビジネスマッチングの可能性を探る。まずは8月に専門家を派遣、9月には同国に興味がある企業を対象に県内でセミナーを開く。その後11月に現地を訪問して地場企業との交流などを予定している。」

大分県による2009年同国の自動車生産台数は約40万台、10年は約70万台と急増している。日本の完成車メーカー各社も進出しており、「自動車関連の現地企業と県内企業とのビジネスマッチングの可能性を探る。まずは8月に専門家を派遣、9月には同国に興味がある企業を対象に県内でセミナーを開く。その後11月に現地を訪問して地場企業との交流などを予定している。」

大分県による2009年同国の自動車生産台数は約40万台、10年は約70万台と急増している。日本の完成車メーカー各社も進出しており、「自動車関連の現地企業と県内企業とのビジネスマッチングの可能性を探る。まずは8月に専門家を派遣、9月には同国に興味がある企業を対象に県内でセミナーを開く。その後11月に現地を訪問して地場企業との交流などを予定している。」

世界に轟け 阿南高専

独アイデア万博 日本から初参加



世界に「アナン」の名を轟かせろ。阿南工業高等専門学校(徳島県阿南市、小松満男校長、0884-23-7100)の研究チームが、8月27日-9月4日の間、ドイツのハノーバーで開催される「アイデア万博2011」に日本の高専では初めて参加することが決まった。 展出するのは、電気電子工学科の長谷川准教授が率いて手がける「発光ダイオード(LED)を用いた射撃ゲームとLED手書き入力ディスプレイ」。ディスプレイには縦横に約1万4400個のLEDを敷き詰めた。LEDが点灯するとレーザー光を当てて得点を競う射撃ゲームと、レーザーペンで文字などを黒板のように書き消しができる機能を取り入れた。 長谷川准教授と研究室の5年生、尾崎貴弥さんが中心となり、昨年から試作品の開発を進めていたという。尾崎さんは「すべて手づくりで企業の協力は得ていない。今回の出席でモノづくりにかける高専の存在意義を示したい」と意気込んでいる。(徳島)

滋賀県 震災緊急対策資金を創設

【大津】滋賀県は震災緊急対策資金を創設し、東日本大震災の影響で売り上げが減少し、長期資金が必要な中小企業や協同組合などを支援するの狙い。取扱期間は2012年3月末日まで。対象は被災区域内に事業所があり、震災の影響で最近3カ月の売上高が前年同期比10%以上減少した事業者など。新規枠は経営安定のための設備資金や運転資金で、限度額は8000万円、利率は年1.3%(保証必須)。借換枠は保証付き融資の借り換えに必要な資金で、同2億円、同1.8%(同)。いずれも融資期間は10年以内(据え置き2年以内)。問い合わせは県商工政策課(077-528-3714)へ。



基本を変えず、幅広い世代に親しまれている

所在地 佐賀県小城市小町池の上2500、0(11年3月期) 従業員 20人 9522-73-4311 80人 設立 1927

主丸町主丸706の上高100万円(10年) 3,050,5540 9月期) 従業員 5人 8434 主要製品 柿 シロップ・ピューレ 設立 08年(平20) 2

▽社長 林田武氏▽所在地 福岡県久留米市田

【東大阪】大阪東信用金庫(大阪府八尾市、梶田益男理事長、072-923-1981)は、2011年4-6月期の大阪東部の中小企業景況調査をまとめた。全業種の業況判断DI(業況が「良い」と答えた企業の割合から「悪い」を引いた値)は、前期(同一)

8期ぶりに低下

3月期)比10.2%減少の20.9となった。09年4-6月期を底に改善が続いていたが、東日本大震災の影響を受けて8期ぶりに低下した。7-9月期の予想業況判断DIは11年4-6月期比4.7%増の16.2と、小幅ながら改善する見通し。

鎌田特許事務所
所長 弁理士 鎌田 文二
国内・外国 特許・実用新案・意匠・商標・サービスマークに関する 出願・審判・鑑定・訴訟・調査 並びに相談
大阪府中央区日本橋1丁目18番12号(日本一交差点)
TEL.(06)6631-0021 FAX.(06)6641-0024